グローブライド株式会社

証券コード：7990

2027年3月期 第2四半期決算 説明資料

2026年11月18日

GLOBERIDE

A Lifetime Sports Company

2027年3月期 第2四半期決算の概要

2027年3月期 第2四半期連結決算ハイライト ①前期比

GLOBERIDE
A Lifetime Sports Company

（百万円）

	2025/9	2026/9	増減額	増減率
売上高	65,573	69,767	4,193	6.4%
売上総利益	25,363	26,182	819	3.2%
売上総利益率	*38.7%*	*37.5%*	△1.2 point	–
営業利益	4,893	4,302	△590	△12.1%
営業利益率	*7.5%*	*6.2%*	△1.3 point	–
経常利益	5,094	4,332	△762	△15.0%
経常利益率	*7.8%*	*6.2%*	△1.6 point	–
親会社株主に帰属する中間純利益	3,928	3,455	△472	△12.0%
中間純利益率	*6.0%*	*5.0%*	△1.0 point	–

- アウトドア・スポーツ・レジャー業界の市況は、エネルギー価格の高騰や物価上昇による消費マインドへの影響が見られるものの、市況は緩やかな回復基調で推移。
- 当社グループにおいては、魅力ある製品と質の高いサービスの提供を行い増収となった。
- 利益面では、グループ間取引在庫の一時的な増加に伴う未実現利益の消去により売上原価が増加したことに加え、販売費及び一般管理費が増加したことなどから、営業利益は減益となった。経常利益も、外貨建債権の評価益が前期に比べ減少したことなどにより、減益となった。

2027年3月期 第2四半期連結決算ハイライト　②予想比

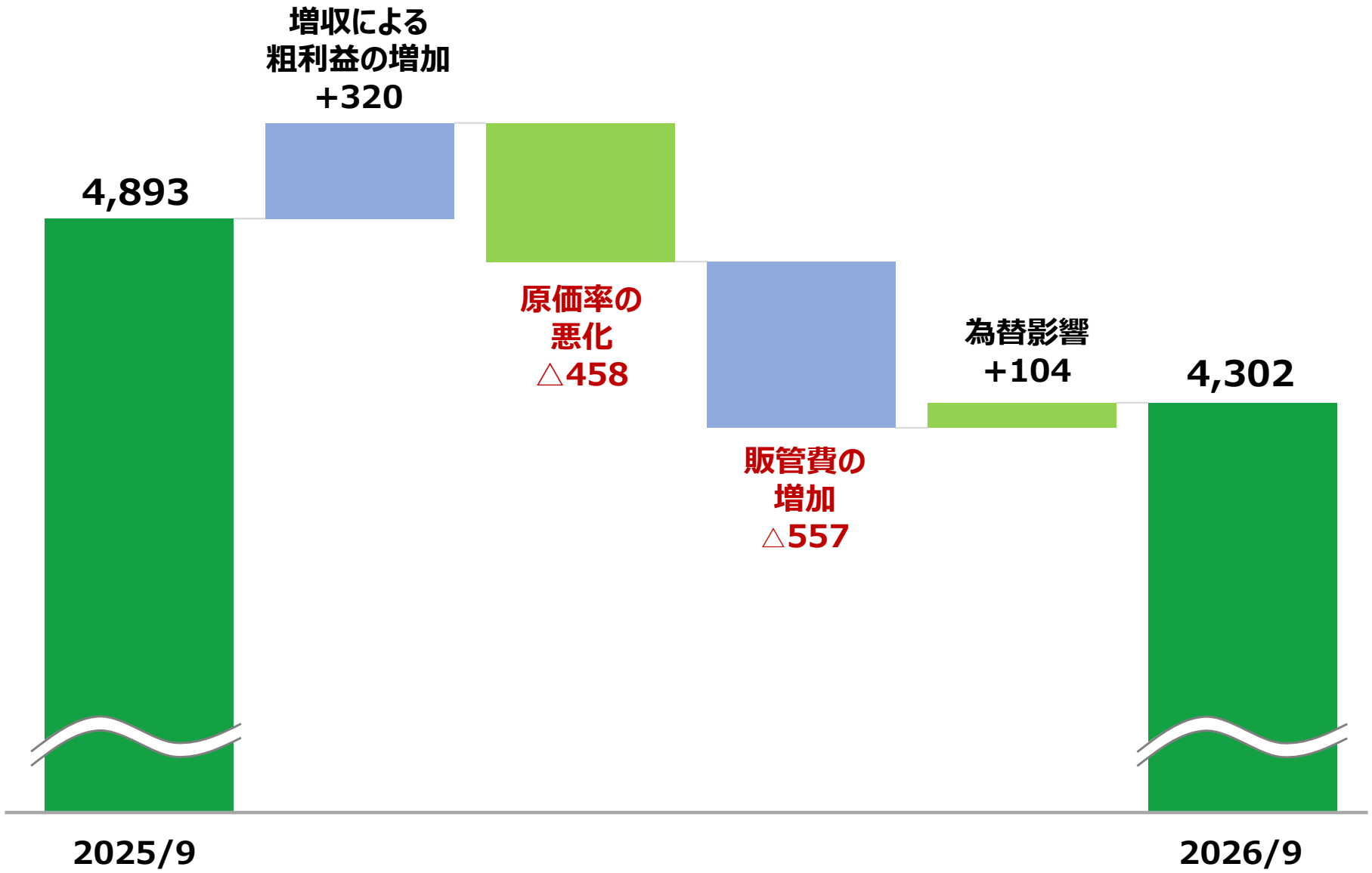
（百万円）

	2026/9		増減額	増減率
	修正予想	実績		
売上高	69,000	69,767	767	1.1%
営業利益	3,500	4,302	802	22.9%
営業利益率	*5.1%*	*6.2%*	1.1point	–
経常利益	3,400	4,332	932	27.4%
経常利益率	*4.9%*	*6.2%*	1.3point	–
親会社株主に帰属する中間純利益	3,000	3,455	455	15.2%
中間純利益率	*4.3%*	*5.0%*	0.6point	–

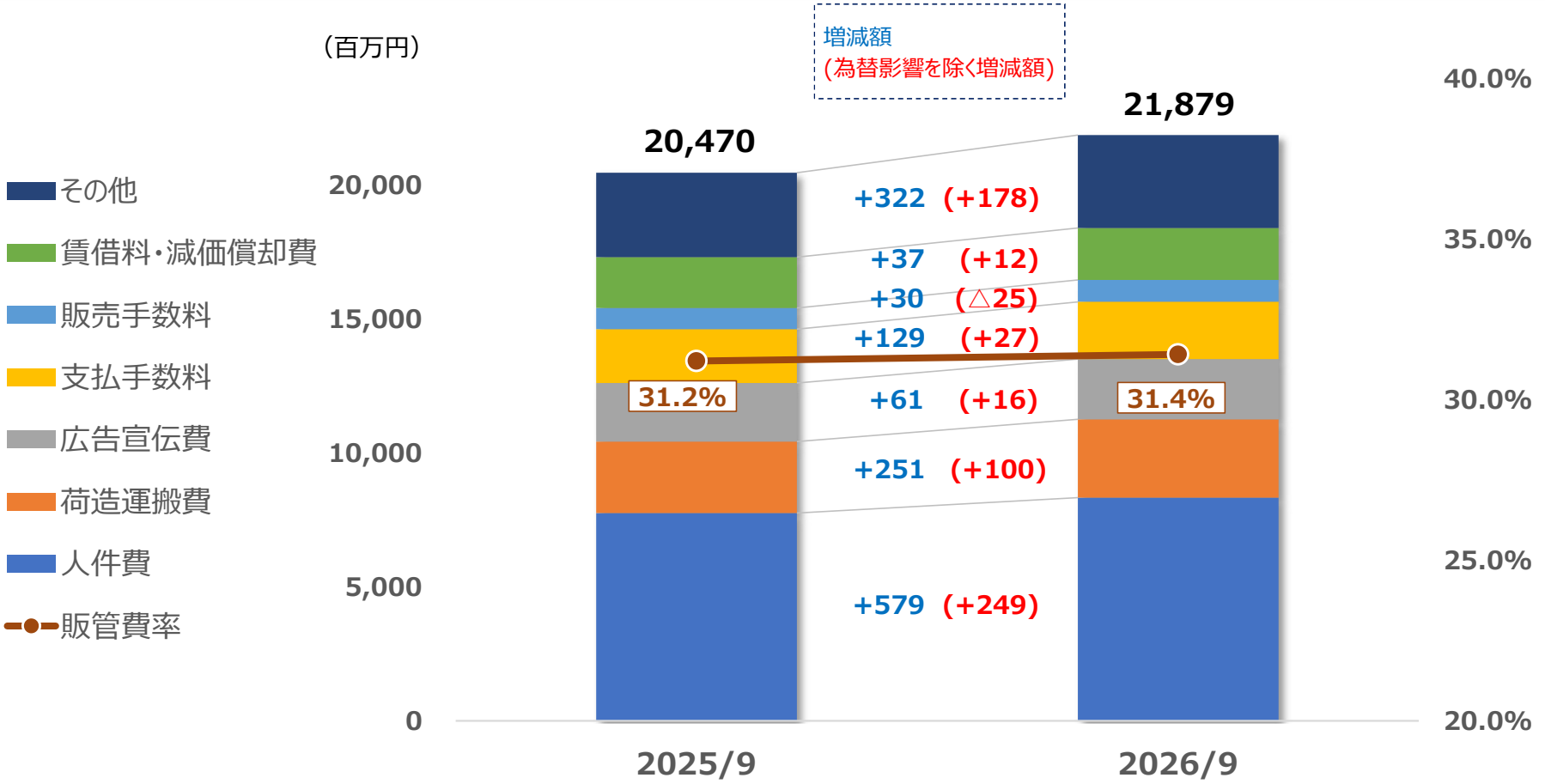
- 売上高については、エネルギー価格の高騰や物価上昇による消費マインドへの影響が見られるものの、市況は緩やかな回復基調で推移し、予想を上回る結果となった。
- 各利益段階では、売上高の予想比を上回る結果に加え、販管費の効率的な活用により修正予想を上回る結果となった。

営業利益の増減要因

（百万円）

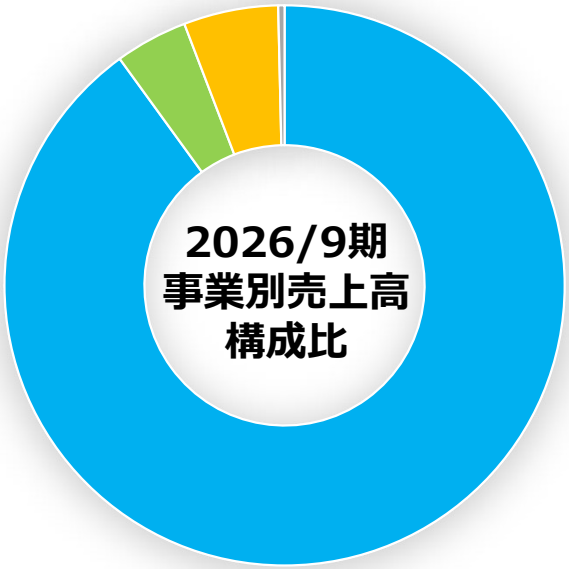


販売費及び一般管理費の内訳



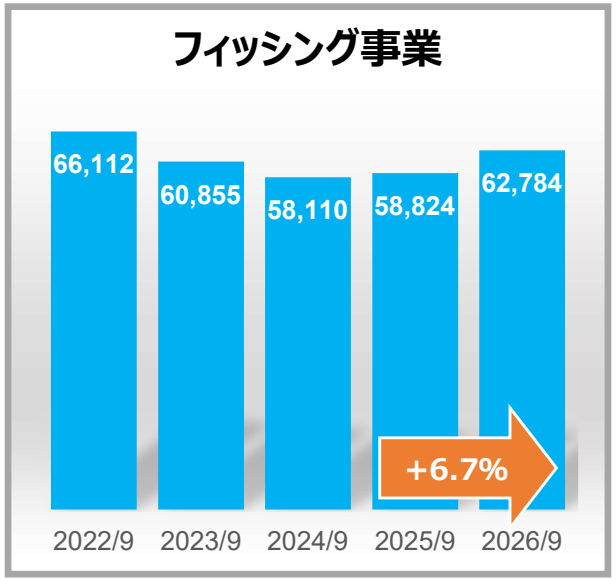
- 販売費及び一般管理費は、賃金の上昇に伴う人件費の増加や荷造運搬費、情報システム関連費用の増加等により増加している。
- 物価の上昇やエネルギー価格の高騰などもあるが、世界各地域での緩やかな市況の回復の下、グループ全体として経費の支出については使うべきものと抑えるべきものの強弱を心掛けて取り組んでいる。

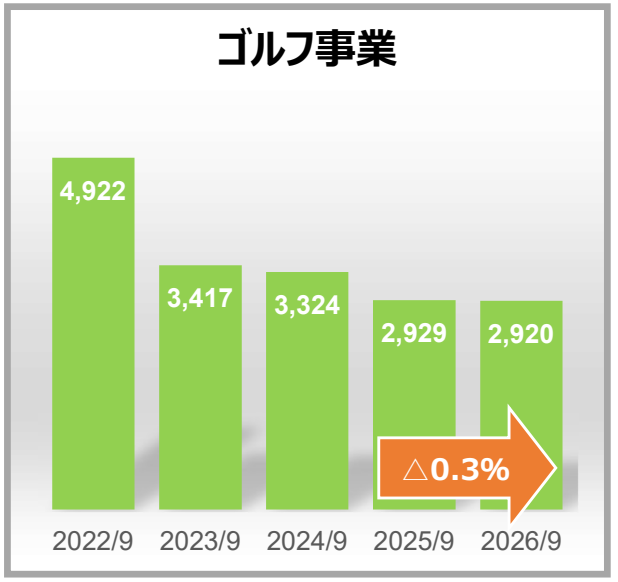
事業別売上高の状況

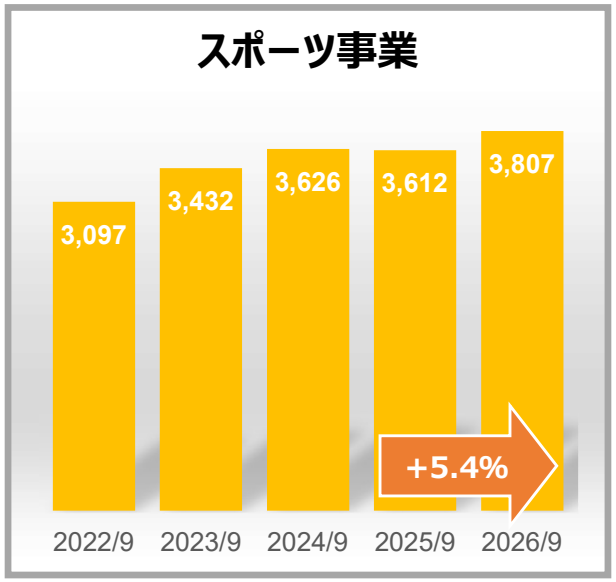


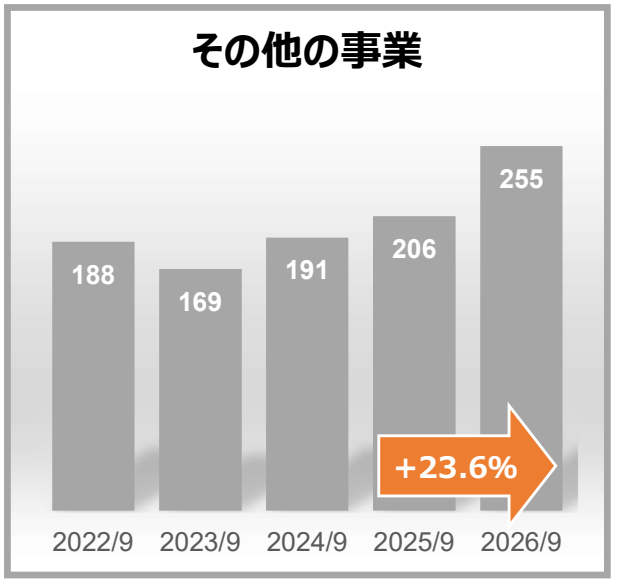
- フィッシング事業 … 90.0%
- ゴルフ事業 … 4.2%
- スポーツ事業 … 5.5%
- その他の事業 … 0.3%

※グラフの単位はすべて百万円





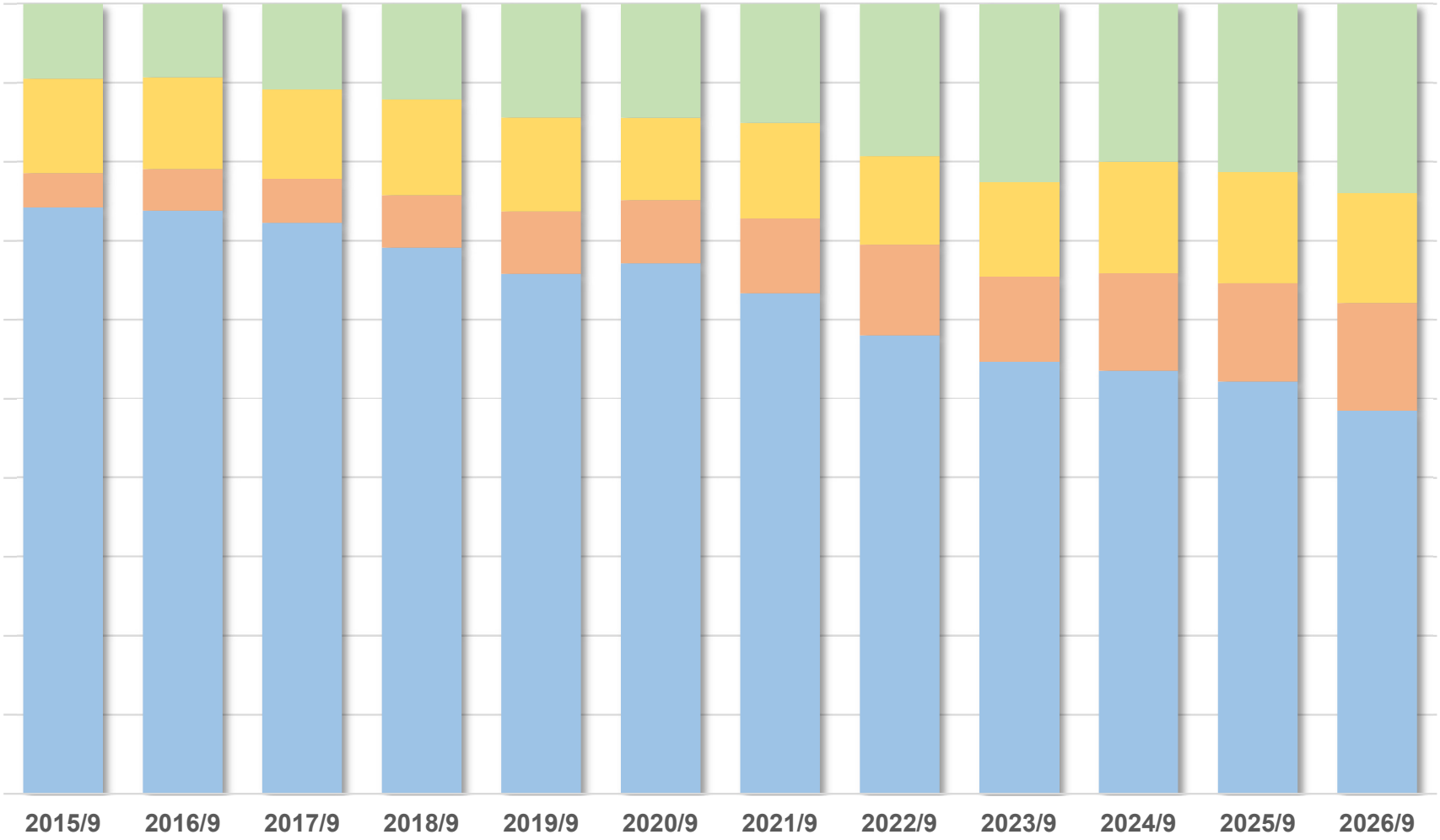




【市況】

フィッシング事業は、日本市場の回復は想定より遅く力強さに欠ける状況となったものの、海外市場での売上増加により全体では増収となった。ゴルフ事業は国内はやや足取りが重く、また海外が低迷し減収、スポーツ事業は引き続き堅調なインバウンド需要により概ね増収となった。

報告セグメント別売上比率の推移



（単位：%）

	2015/9	2016/9	2017/9	2018/9	2019/9	2020/9	2021/9	2022/9	2023/9	2024/9	2025/9	2026/9
日本	74.2	73.8	72.3	69.2	65.8	67.2	63.3	58.0	54.7	53.6	52.2	48.5
米州	4.3	5.3	5.6	6.6	7.9	8.0	9.5	11.5	10.8	12.3	12.4	13.6
欧州	12.0	11.6	11.3	12.1	11.9	10.4	12.1	11.2	12.0	14.1	14.1	13.9
アジア・オセアニア	9.5	9.3	10.8	12.1	14.4	14.4	15.1	19.3	22.5	20.0	21.3	24.0

報告セグメント別売上高、利益の状況①

GLOBERIDE
A Lifetime Sports Company

日　本

【売上高】　33,822百万円　△1.2%

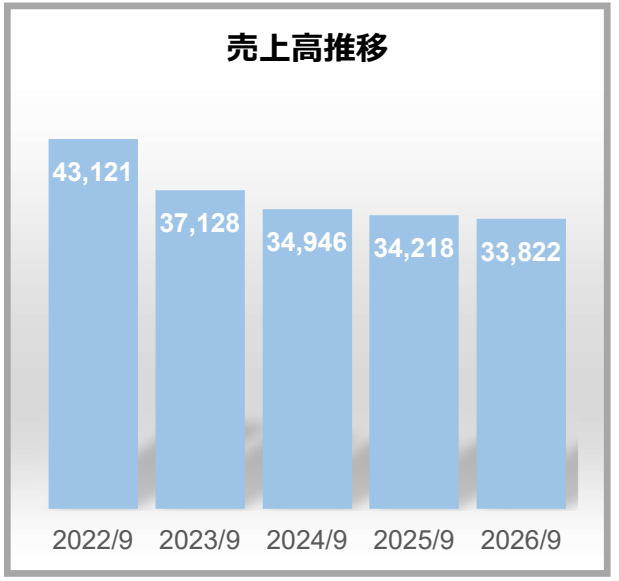
日本地域は、エネルギー価格や物価の高騰が家計の可処分所得に影響を及ぼしている状況からアウトドア・スポーツ・レジャーの市況は依然足取りの重い状況。

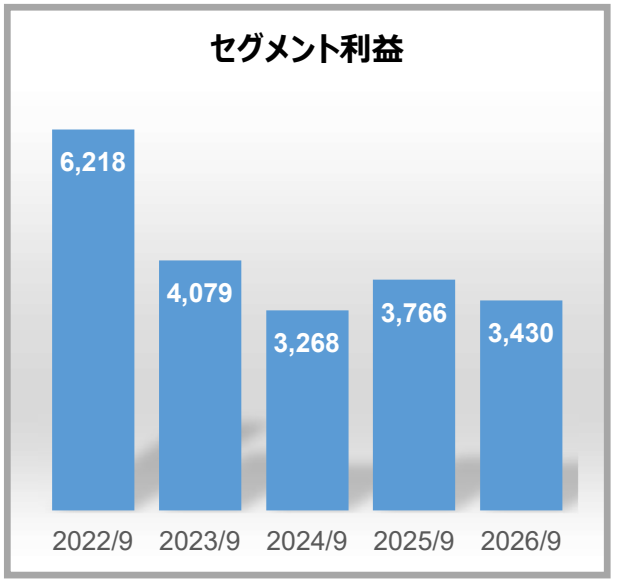
そのような中、スピニングリール「CERTATE」、電動リール「SEABORG」、シーバス用ロッド「morethan」、ゴルフでは「ONOFF　AKA」などお客様にご満足いただける新製品の投入とサービスの提供を行ってきたが、売上高は33,822百万円（前期比1.2%減）となった。

【営業利益】　3,430百万円　△8.9%

営業利益は、減収による売上総利益の減少に加え、原価率の悪化により、3,430百万円（前期比8.9%減）となった。

※グラフの単位はすべて百万円





報告セグメント別売上高、利益の状況②

GLOBERIDE
A Lifetime Sports Company

米 州

【売上高】　9,512百万円　+16.5%

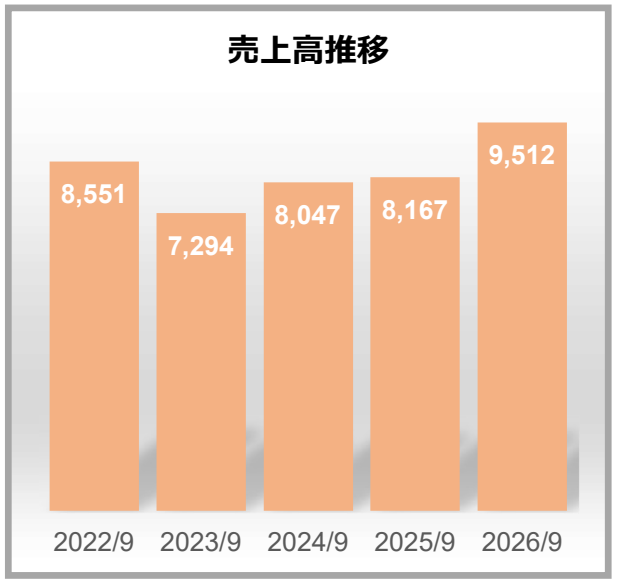
米州は、関税政策の影響等も落ち着きを見せ始め、市況は堅調に推移。

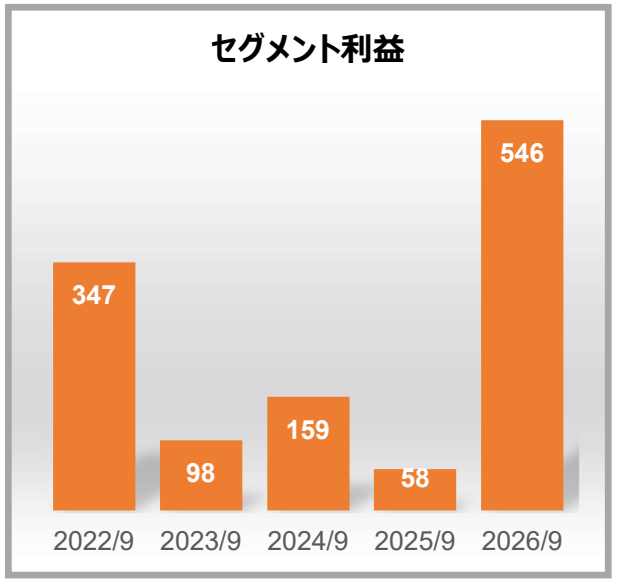
米国市場向けには「TATULAシリーズ」を始めとしたバスフィッシング用品や海釣り用のリール「BGシリーズ」を中心に販売拡大の取り組みを行った結果、売上高は9,512百万円（前期比16.5%増）となった。

【営業利益】　546百万円　832.3%

営業利益は、売上増に伴う売上総利益の増加に加え、原価率の良化により546百万円（前期比832.3%増）となった。

※グラフの単位はすべて百万円





報告セグメント別売上高、利益の状況③

GLOBERIDE
A Lifetime Sports Company

欧　州

【売上高】　　9,722百万円　　+5.5%

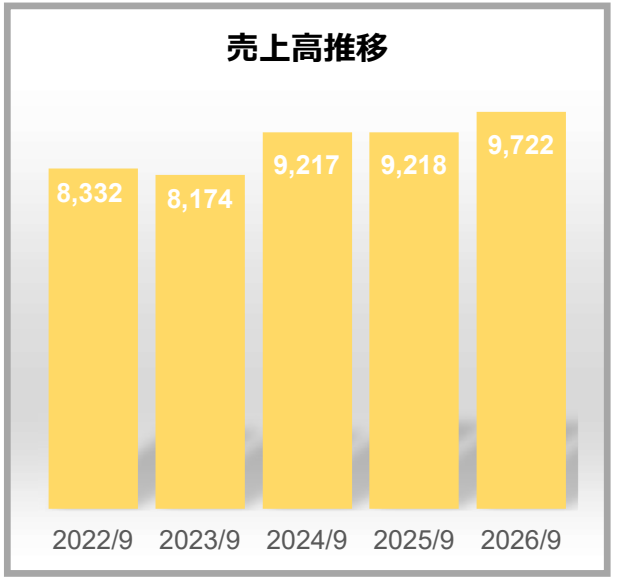
欧州は、中東情勢の影響によるガソリン価格の高騰等により、アウトドア・スポーツ・レジャーの市況は足取りの重い状況。

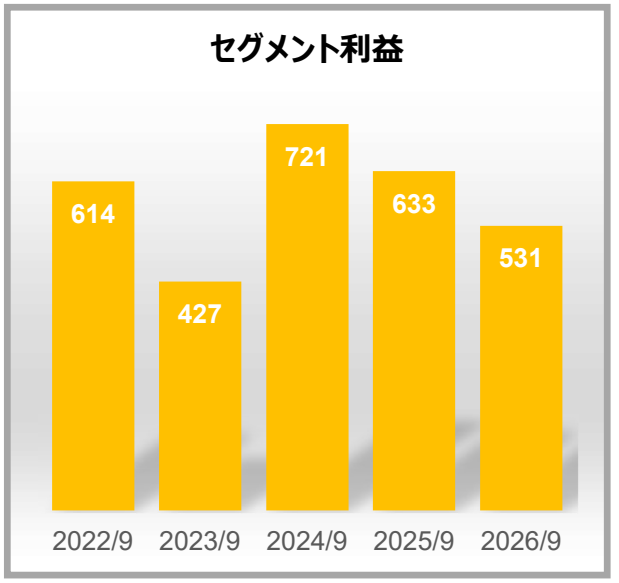
そのような中、引き続き各地域のニーズに合った製品の投入等を行った結果、また円安による換算の影響もあり、売上高は9,722百万円（前期比5.5%増）となった。

【営業利益】　　531百万円　△16.2%

営業利益は、原価率の良化等に伴い売上総利益は増加したが人件費経費等の増加により、531百万円（前期比16.2%減）となった。

※グラフの単位はすべて百万円





報告セグメント別売上高、利益の状況④

GLOBERIDE
A Lifetime Sports Company

アジア・オセアニア

【売上高】　16,709百万円　+19.6%

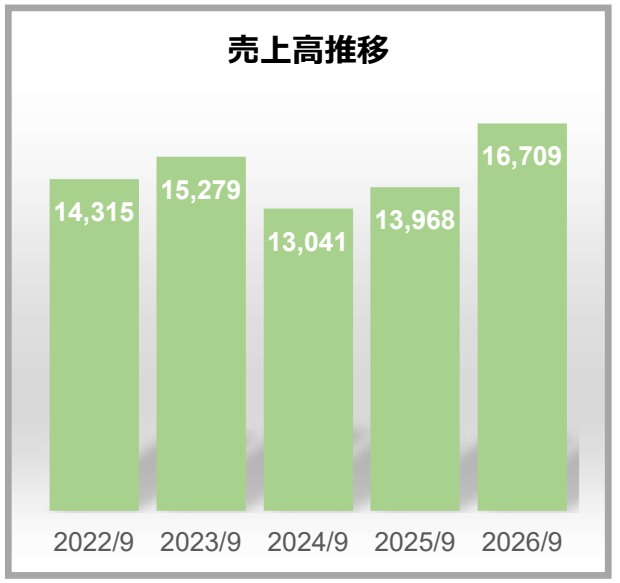
アジア・オセアニア地域の市況は、国ごとの社会経済情勢にはばらつきが見られる中、中国を中心とした中華圏の市況は引き続き足取りが重い状況である一方、韓国・東南アジアの市況は堅調に推移。

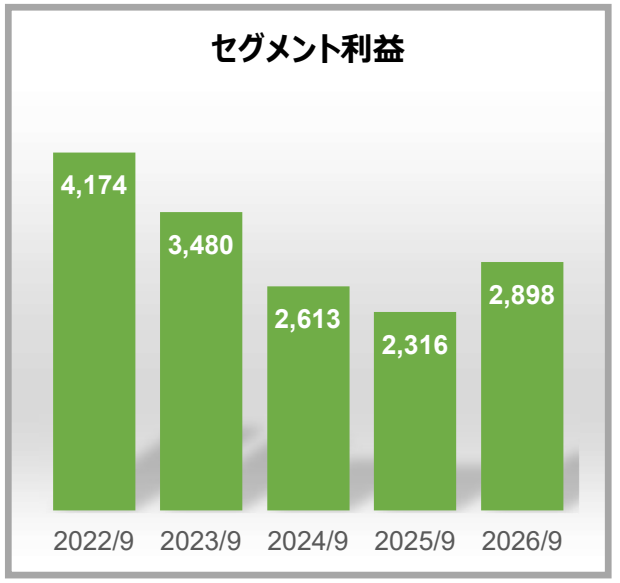
その中で当社は、日本製の高級品や現地専用品を中心に売上拡大に取り組んだ結果、売上高は16,709百万円（前期比19.6%増）となった。

【営業利益】　2,898百万円　+25.1%

営業利益は、工場における生産計画の時期差異による生産機種構成の変化や、グループ間取引在庫の増加に伴う未実現利益消去の影響があったものの、売上高の増加に加え、円安による換算の影響もあり、2,898百万円（前期比25.1%増）となった。

※グラフの単位はすべて百万円





BSの状況

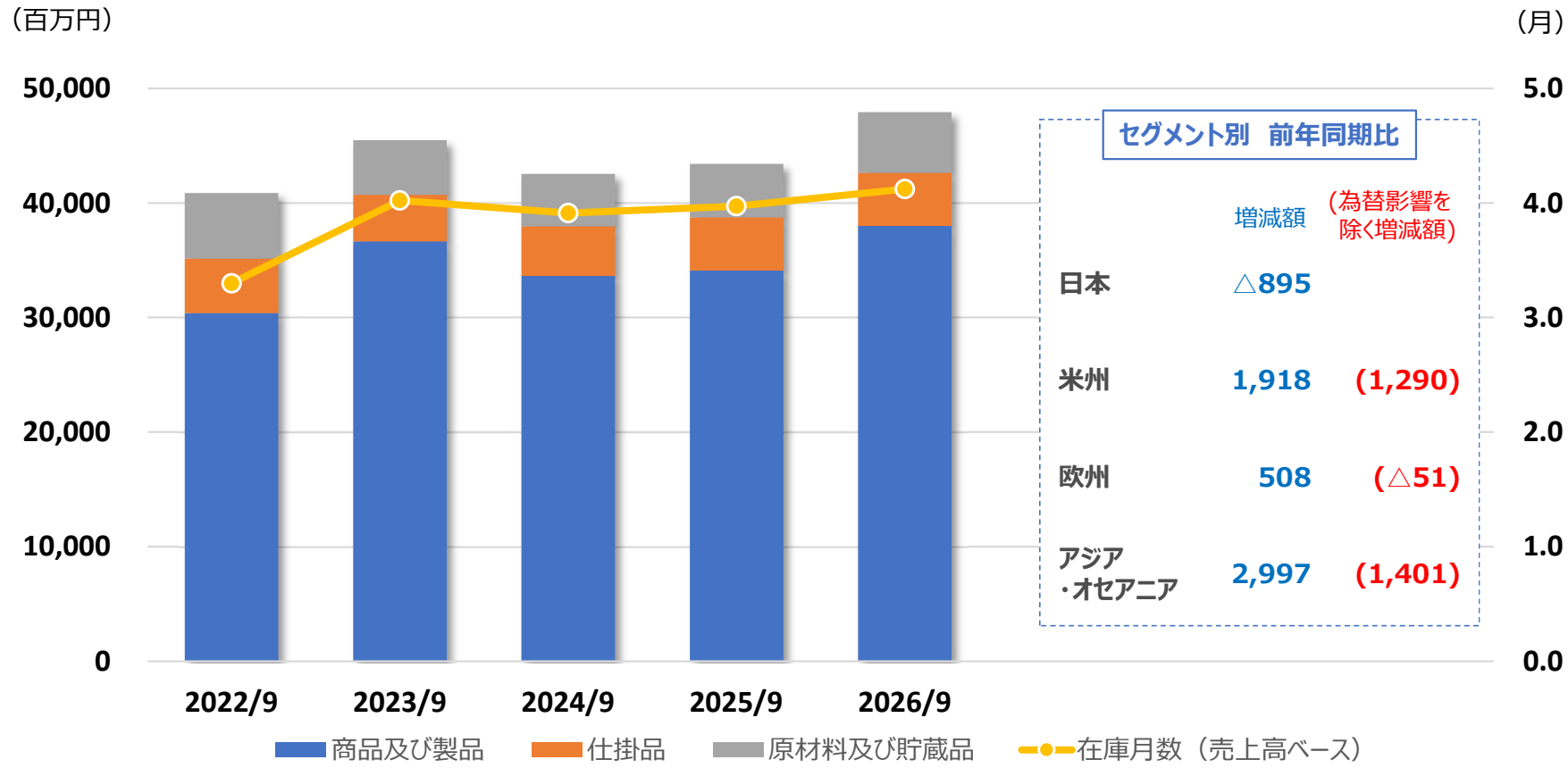
GLOBERIDE
A Lifetime Sports Company

■BSの状況

（百万円）

	2026/3末	2026/9末	増減額	増減率
資産合計（総資産）	119,631	124,099	4,467	3.7%
流動資産	78,086	82,480	4,393	5.6%
現預金	13,025	13,614	589	4.5%
棚卸資産	44,204	47,925	3,721	8.4%
固定資産	41,545	41,618	73	0.2%
負債合計	54,702	56,313	1,611	2.9%
流動負債	32,136	37,016	4,879	15.2%
短期借入金	15,173	18,601	3,427	22.6%
固定負債	22,565	19,297	△3,267	△14.5%
長期借入金	13,353	10,276	△3,077	△23.0%
純資産	64,929	67,785	2,855	4.4%
自己資本比率	*54.1%*	*54.4%*	+0.3point	–

棚卸資産の推移



セグメント別　前年同期比

	増減額	（為替影響を除く増減額）
日本	△895	
米州	1,918	(1,290)
欧州	508	(△51)
アジア・オセアニア	2,997	(1,401)

- 当社グループの在庫は、為替換算に加え米州及びアジアにおいて増加している。
- 米州は、関税の影響及び大手口座向けの受注増に伴い増加している。
- アジアは、中国の販売会社において売れ筋在庫の前倒し調達により増加している。また、一部生産会社においては、中東情勢の影響に伴う部材の在庫が増加及び船便遅れにより増加
- それ以外の拠点については在庫水準は適正水準を維持している。

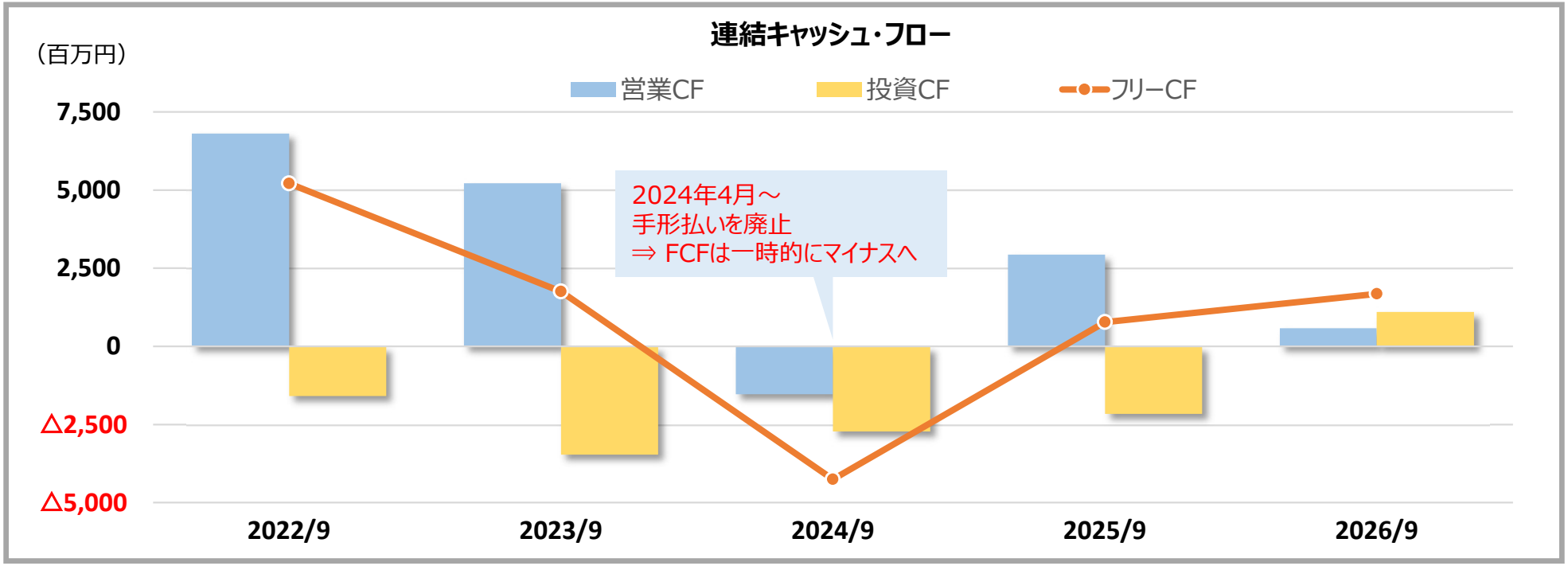
キャッシュ・フローの状況

GLOBERIDE
A Lifetime Sports Company

■CF（キャッシュ・フロー）の状況

（百万円）

	2025/9	2026/9	増減額	増減率
営業活動CF	2,936	3,516	580	―
投資活動CF	△2,159	△1,057	1,101	―
財務活動CF	△2,990	△2,527	463	―
現金及び現金同等物の期末残高	8,794	12,120	3,326	+37.8%
FCF（フリーキャッシュ・フロー）	777	2,459	1,682	―



2027年3月期　連結業績予想

GLOBERIDE
A Lifetime Sports Company

（百万円）

	2026/3期（実績）	2027/3期（予想）	増減額	増減率
売上高	126,956	134,000	7,043	5.5%
営業利益	6,501	7,000	498	7.7%
営業利益率	*5.1%*	*5.2%*	+0.1point	—
経常利益	7,184	6,400	△784	△10.9%
経常利益率	*5.7%*	*4.8%*	△0.9point	—
親会社株主に帰属する当期純利益	5,409	5,500	90	1.7%
当期純利益率	*4.3%*	*4.1%*	△0.2point	—

- 国内外の経済は緩やかな成長が見込まれるものの、原材料価格・エネルギー価格の高騰や地政学的リスクの高まり、米国通商政策の動向、中国経済の停滞等、引き続き先行き不透明な状況。
- 当社グループの属するアウトドア・スポーツ・レジャー業界の市場環境も、物価高や金利高等の影響による消費者の生活防衛意識の高まりを受けつつも、足下の市況は着実な回復傾向。
- 通期予想は、市場の緩やかな回復を見込むとともに、在庫正常化に伴う未実現損益の改善、および生産機種の時期ずれを踏まえた損益影響を織り込み、期初予想を据え置き。

自己株式の取得及び消却について

GLOBERIDE
A Lifetime Sports Company

株主還元の充実並びに資本効率の向上のため、自己株式の取得を実施し、自己株式の消却を実施

●自己株式の取得について

（１）取得した株式の総数：600,700株

（２）取得価額の総額：1,499,867,100円

（３）取得期間：2026年５月14日～2026年６月８日

（４）取得方法：東京証券取引所における市場買付け

●自己株式の消却について

（１）消却する株式の数：600,700株（発行済株式総数（自己株式を除く）に対する比率2.8%）

（２）消却日：2026年７月31日

トピックス

SUSTAINABILITY REPORT 2026

2026年9月30日にサステナビリティ報告書「SUSTAINABILITY REPORT 2026」を発行いたしました。本報告書はグローブライドにおける事業活動や持続可能（サステナブル）な成長に向けた取り組み、社会への貢献をまとめたもので、社内外のコミュニケーションを通じてこれらの取り組みを推進することを目的として作成しています。





<詳細はこちらから>

https://www.globeride.co.jp/sustainability/report/

FTSE JPX Blossom Japan Index 構成銘柄に選定

GLOBERIDE
A Lifetime Sports Company

2026年、ESG投資の主要指標である「FTSE JPX Blossom Japan Index」に初選定されました。
セクター対象の「FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄にも２年連続で選定されました。

FTSE JPX Blossom Japan Index

「FTSE JPX Blossom Japan Index」は、環境、社会、ガバナンス（ESG）について特定の対応を行っている企業のパフォーマンスを測定するために設計された指数です。

（外部サイト）
FTSE Blossom Index Series FTSE Blossom Index Series

FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」は環境、社会、ガバナンス（ESG）評価の高い日本の大型株、中小型株のパフォーマンスを反映するように設計されたセクター・ニュートラルな指数です。

（外部サイト）
FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

<詳細はこちらから>

https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS03790/195512ea/5dec/48e1/bcac/78eb8bb43d0c/140120260710590886.pdf

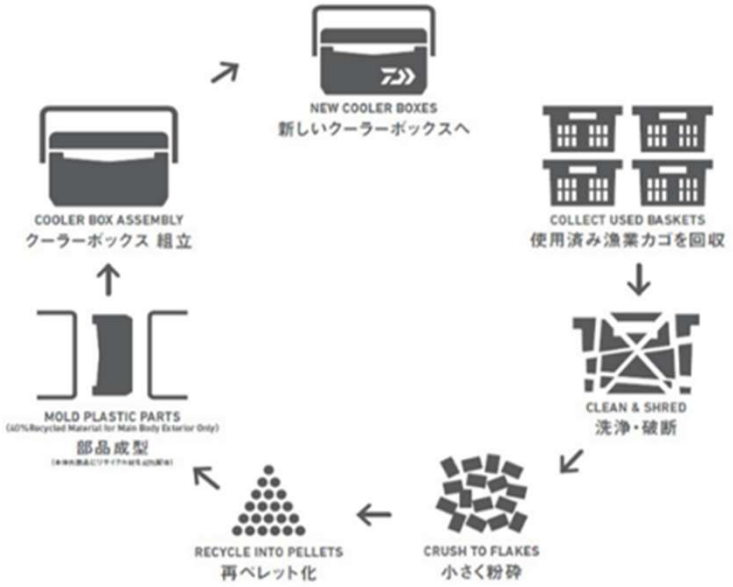
エコマークアワード2026 最優秀賞受賞

兵庫県・明石浦漁業協同組合との協働による地域共創型の資源循環の取り組みから、使用済みプラスチック製漁業カゴを回収・再資源化し、DAIWAのクーラーボックス「クールラインα3 S2500 E」へ再生。

DAIWA_地域共創を通じた資源循環型製品としての価値が評価

資源循環モデル

漁業系プラスチックを再生利用した循環型クーラーボックス



使用済み漁業カゴ → 洗浄・選別
→ 再生材化 → クーラーボックスへ

製品化（クールラインα3 S2500 E（25L））



エコマークアワード2026
最優秀賞を受賞

本体外部材に再生材40%、製品重量比10%以上
エコマーク商品類型 No.164取得（認証No.25164001）

<詳細はこちらから>

https://www.globeride.co.jp/NewsFeedList/2026/20261105

ピックルボール　PX LEAGUE

GLOBERIDE
A Lifetime Sports Company

急速に認知と市場を広げるラケットスポーツ・ピックルボールにおいて、「日本から世界で戦えるトッププロのピックルボール選手を育成する」ためのプロジェクト「Pickleball X」第3期の一環として新設される、企業チームオーナー制による団体リーグ戦「PX LEAGUE」（ピーエックスリーグ）に「GLOBERIDE TEALS（グローブライド ティールズ）」として参戦いたします。



<詳細はこちらから>

https://www.globeride.co.jp/NewsFeedList/2026/20261116





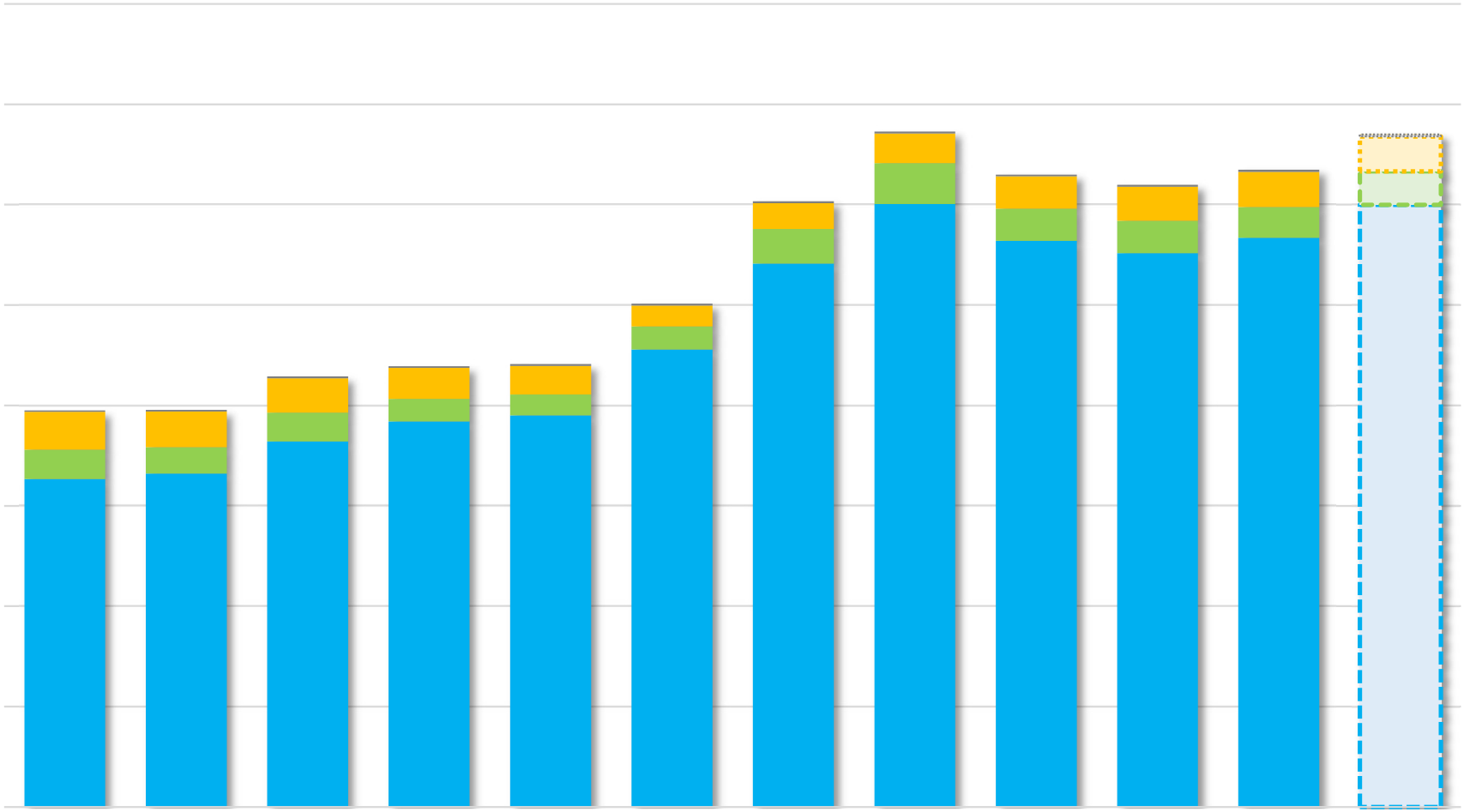


ご清聴ありがとうございました。



ご参考①：長期業績データ

事業別売上高の推移



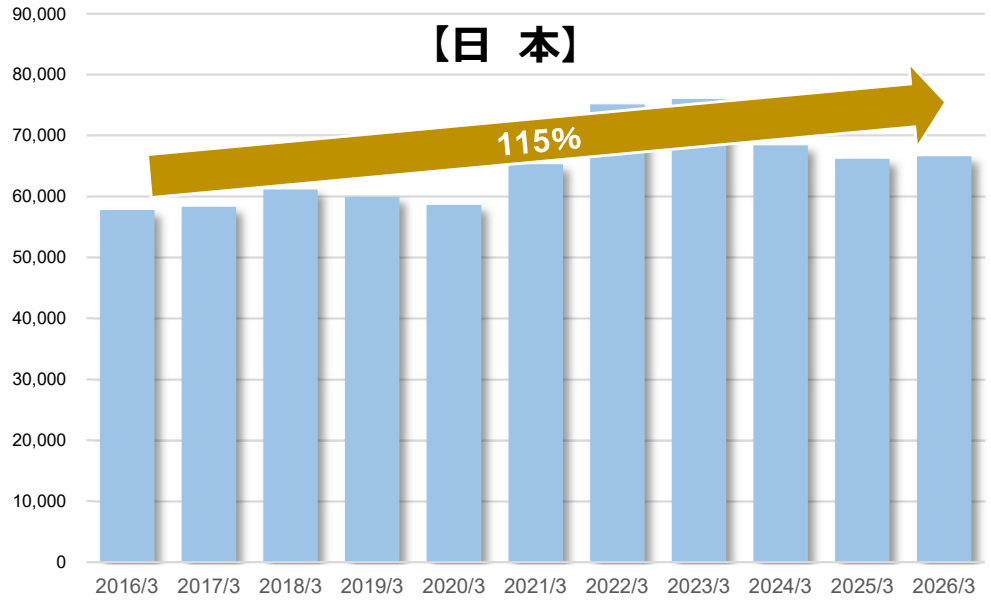
（百万円）

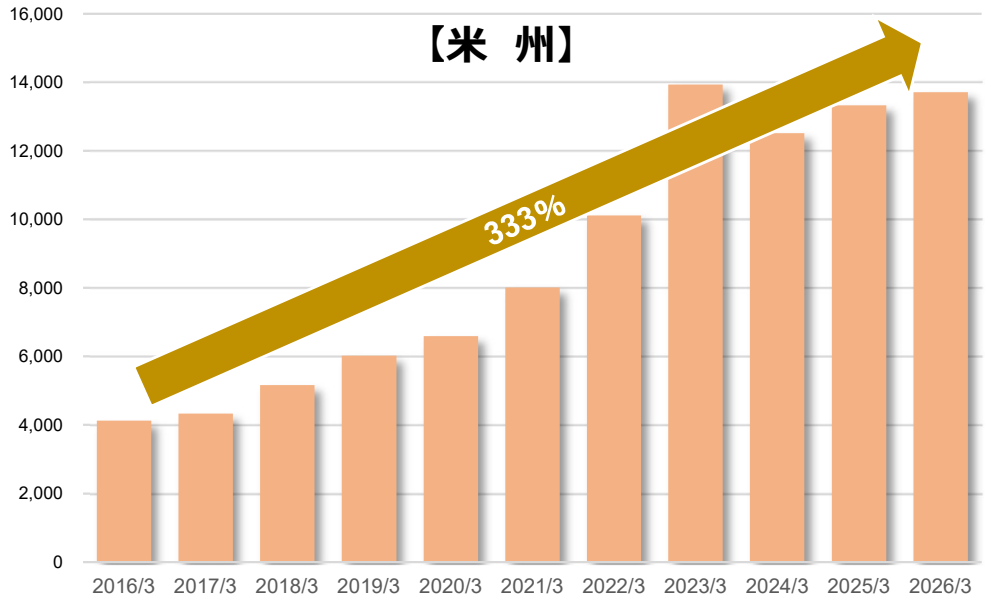
	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3	2025/3	2026/3	2027/3（予）
フィッシング事業	65,318	66,461	72,824	76,827	78,031	91,150	108,281	120,152	112,799	110,349	113,382	120,000
ゴルフ事業	5,852	5,247	5,760	4,471	4,176	4,576	6,886	8,138	6,421	6,444	6,131	6,500
スポーツ事業	7,556	7,108	6,845	6,169	5,683	4,184	5,109	5,911	6,429	6,809	7,024	7,100
その他の事業	298	324	355	343	366	392	406	380	358	380	419	400
合計	79,026	79,142	85,785	87,811	88,258	100,304	120,684	134,583	126,008	123,983	126,956	134,000

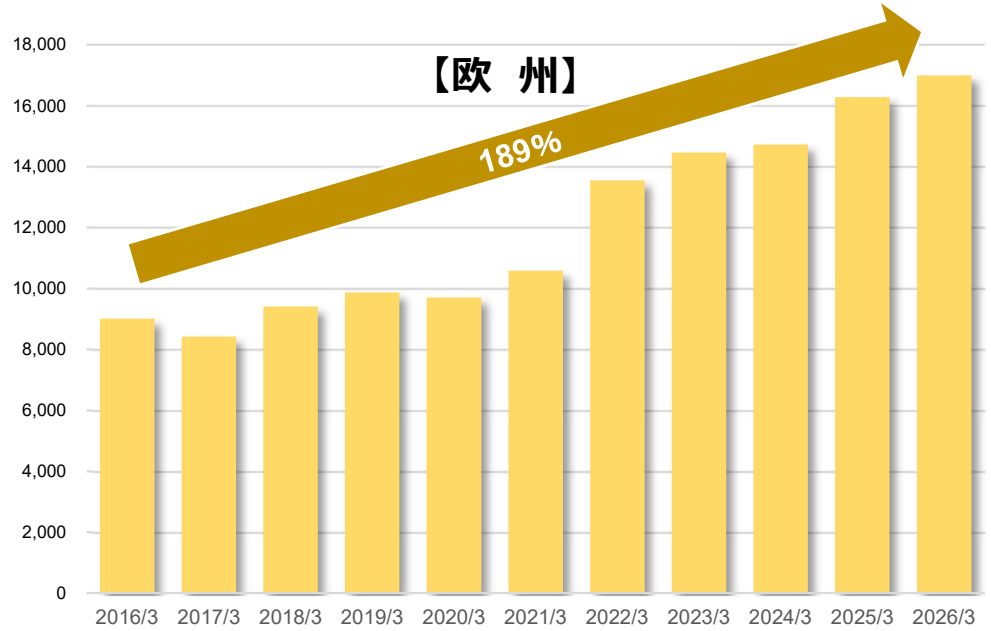
セグメント別（地域別）売上高の推移

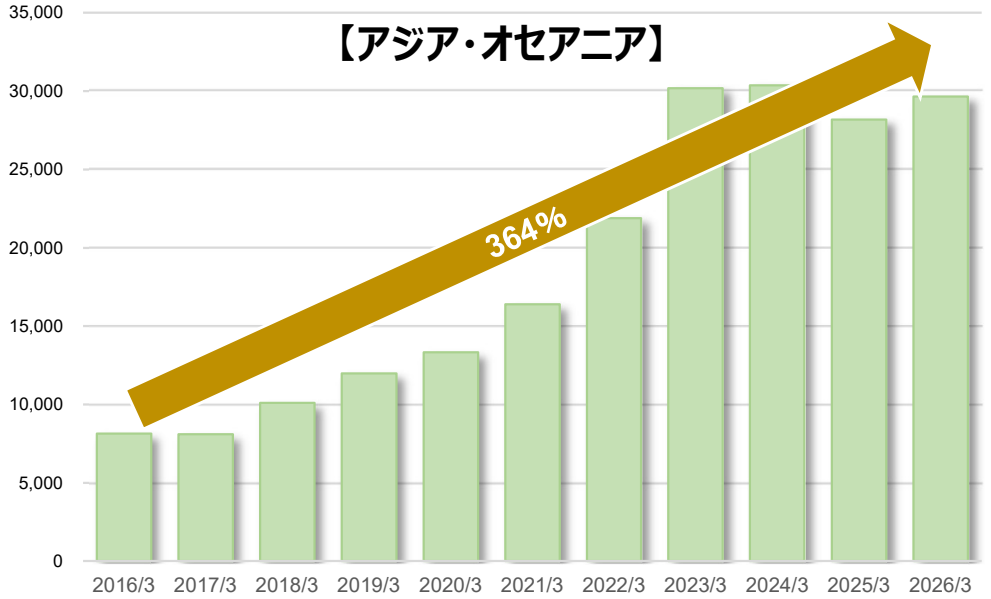
GLOBERIDE
A Lifetime Sports Company

＊単位はすべて百万円









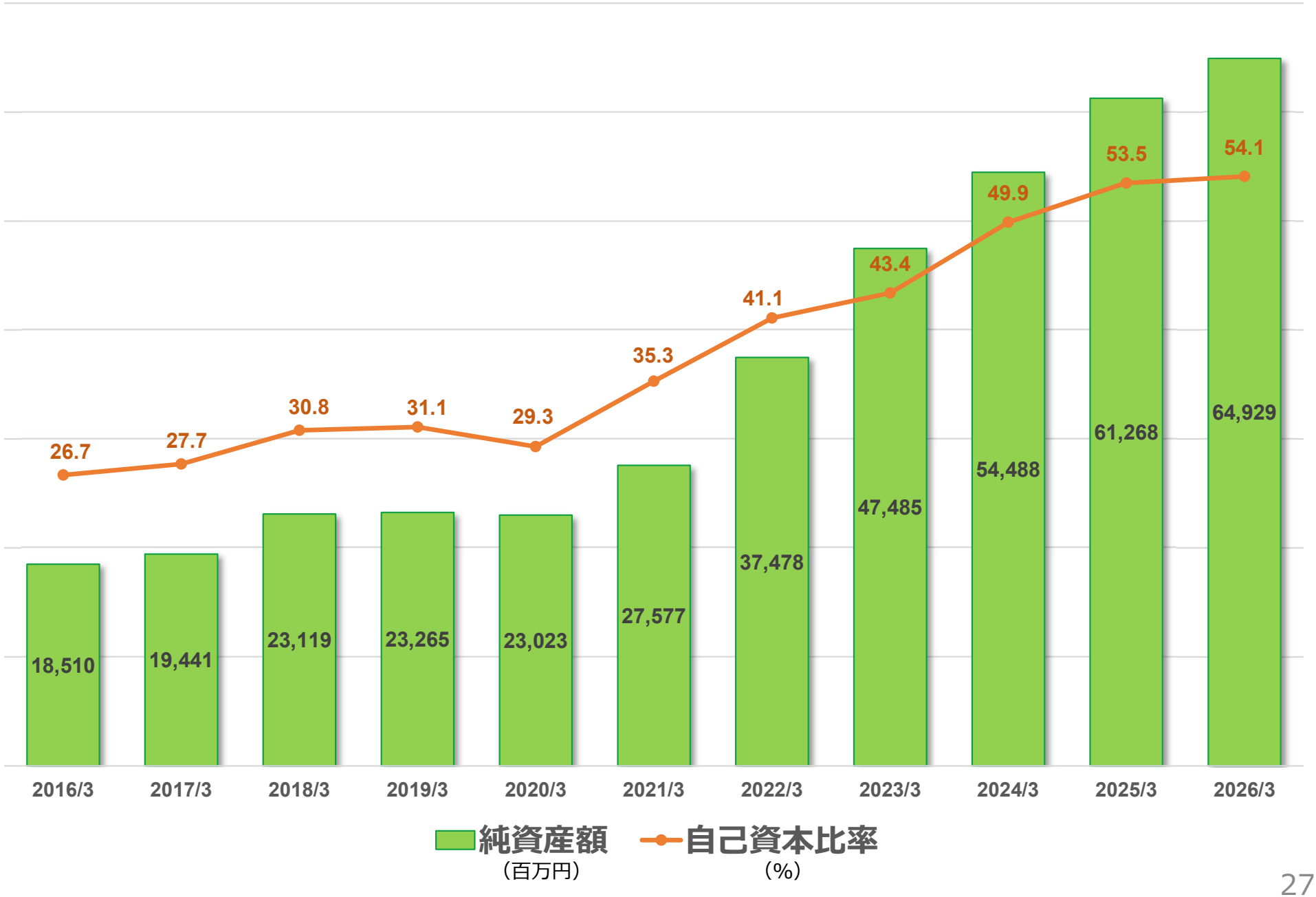
営業利益・営業利益率の推移

GLOBERIDE
A Lifetime Sports Company



純資産・自己資本比率の推移

GLOBERIDE
A Lifetime Sports Company



ご参考②：基礎情報

GLOBERIDE
A Lifetime Sports Company

世界のライフタイム・スポーツ・カンパニーへ

社　　名	グローブライド株式会社（GLOBERIDE, Inc.）
本　　社	東京都東久留米市前沢3丁目14番16号
設　　立	1958年7月29日　※登記上は1945年12月26日
代 表 者	代表取締役社長執行役員　尾ノ上 幸司朗
資 本 金	41億8,411万円 <2026年3月末>
従業員数	連結 7,365名 / 個別 861名 <2026年3月末>
関係会社	国内8社 / 海外21社

沿　革

GLOBERIDE
A Lifetime Sports Company

1955	リール（主として輸出用）の製造開始（社名：松井製作所）
1958	東京都中野区に「大和精工株式会社」を設立
1960	現本社所在地にリール生産工場を新設
1962	リールの国内販売開始
1964	ロッドの生産工場を新設
1969	商号を「ダイワ精工株式会社」に変更
1972	ゴルフ事業に進出
1980	テニス事業に進出
1991	サイクルスポーツ事業に進出
2008	ウインザー商事株式会社及び株式会社フォーティーンを子会社化
2009	商号を「**グローブライド株式会社**」に変更
2011	東日本大震災により国内フィッシング市場が大打撃を受ける
2012～	軸足をフィッシングの海外市場に置き、グローバル展開を加速

【免責事項】

※本資料に記載している予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。